

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 41 事業名 広域行政推進事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		企画調整費	
	大事業		企画調整事業	
事項		広域行政推進事業		

分野別目標	6	基本計画の推進
政策	5	地方分権・広域行政への対応
施策	1	地方分権・広域行政への対応
取組		

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	平成16年度	～
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	企画課	有馬 専至 (435-1015)
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	「吉野川・紀の川流域協議会」を設立し流域の豊かな水環境を保全、創出していく。	奈良県川上村、吉野町、下市町、大淀町及び五條市並びに和歌山県橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町、紀の川市、岩出市及び和歌山市の12市町村で、「吉野川・紀の川流域協議会」を設立して、広域的な連携に取り組み、豊かな水環境を含む自然環境を守るため、各市町村30,000円の負担金で、体験学習会、源流体験学習会、水環境に関する講演会を年間2回開催するとともに、広報誌やホームページを通じて広報啓発を行う。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌山周辺広域市町村圏協議会を廃止</li> <li>講演会</li> <li>施設見学会</li> <li>源流体験研修会</li> </ul>	講演会 施設見学会・体験学習会 源流体験研修会	○体験学習会の実施  奈良県吉野郡川上村音無川公園（あきつ小野スポーツ公園）で、流域の小学生とその保護者 合計35名が参加。蜻蛉の滝周辺散、アマゴつかみどり、学べる建設ステーション&堰堤散歩等を実施。  ※講演会、源流体験学習会開催予定地の川上村が台風12号による災害発生のため中止	○水環境に関する講演会 ○体験学習会の実施 和歌山県岩出市「緑花センター」で、流域の小学生とその保護者34名が参加。木工クラブでイス作りと園内ミニツアー実施。 ○源流体験研修会 の実施	○水環境に関する講演会 ○体験学習会 ○源流体験研修会 の実施

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	668	110	237	119	217	70	207		207	
伸び率 (%)	-	-	-64.5%		-8.4%		-4.6%		0.0%	
人件費	常勤職員	6,898	7,194	5,665	5,189	8,700	9,707	9,707	9,707	
	非常勤職員									
小計	6,898	7,194	5,665	5,189	8,700	9,707	9,707	9,707		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	668	110	237	119	217	70	70		70	
所要人数	常勤職員	0.9	0.94	0.74	0.69	1.15	1.29	1.29	1.29	
	非常勤職員									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	各事業開催についての広報誌による掲載	年度目標値					3	3	3	
		実績値					3	2		
	単位	件	全体目標値	3	全体目標達成度	100.0%	100.0%	66.7%		
			年度目標値		年度別達成度					
成果指標	講演会等参加者数	年度目標値				80	100	100	100	100
		実績値				107	100	36		
	単位	人	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	133.8%	100.0%	36.0%	
			年度目標値		年度別達成度					
		実績値								
単位		全体目標値		全体目標達成度						
		年度目標値		年度別達成度						

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)  <b>A</b>
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	<p>平成23年度事業については、開催予定地の川上村において台風12号による土砂くずれ等の災害のため急遽中止となった。</p> <p>夏休み中、親子を対象とした体験学習会については、参加者が11名(H21)⇒21名(H22)⇒26名(H23)と年々増加傾向にある。</p> <p>よって体験学習会は継続し、PR、啓発につなげていきたい。</p>
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	<p>しかしながら、水環境に関する講演会(12市町村持ち回り)の参加者については、60名(H20)⇒68名(H21)⇒53名(H22)と横ばい状態であるため、各市町村で開催しているイベントにコラボした形で、市町村民の方が参加しやすい環境をつくることを検討している。</p> <p>また、各市町村の(環境等の)NPO団体との連携を図っていく。</p>